

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 鶏の飼養管理技術の改善

小課題名： 光線管理等による効率的な生産技術の開発

細目課題名：

担当者名： 船井 咲知

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	県内の養鶏家で新たにでてきた問題で現場のニーズは高い。また省エネ省力化の観点からも評価できる。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	光線管理自体は新規性は低いですが、到達目標が高く農家が使いやすい管理技術で省エネ効果もめざしている点を評価。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	内容は整合性があり妥当。さらにより早い普及に向け、試験の内容で既知の部分は整理し実証部分を高めてもよい。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	到達目標が高いので、その実現に向けては、文献調査をさらに行い、試験の内容を絞り込んで、効率的な研究となるよう要検討。
5 成果の期待度	5 / 5	問題解決型の試験であり期待度は高い。光線管理の既知の情報も多く、情報を活用すれば成果も出ると期待される。
総合評価	5 / 5	県内の養鶏家が抱える問題解決に向けた研究で社会的ニーズは高い。また省エネの観点からも評価できる。目標レベルは高いが、既知の技術も活用できるので十分に成果が期待できると評価。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

養鶏農家のニーズが高いため、文献等を調査し、効率の良い試験を推進していく。

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 畜産物の品質改善

小課題名： エコフィードを活用した高機能で食味の良い豚肉の生産

細目課題名：

担当者名： 片山 努

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	エコフィード普及にとってマイナスの要素の解決は急務。またおいしい豚肉生産技術は農家からの要望が強い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	エコフィード給与時の新知見についての解明及び脂肪融点と食味の解明という難課題への取り組みで、評価できる。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	目的はエコフィード普及のため、その問題点と解決に向けた研究内容は整合性があり、妥当と評価。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	豚を使った試験部分は実施上の問題はないが、脂肪融点と食味の解明、ビタミンB1の測定などは共同研究機関と十分に事前検討して進める必要がある。
5 成果の期待度	5 / 5	行政や農家からの成果への期待度は高い。脂肪融点と食味の解明については研究内容を絞れば成果が期待できる。
総合評価	5 / 5	研究手法はさらに検討する必要があるが、エコフィード普及上の問題点解決のための研究であり、社会的ニーズ、成果の期待度とも高いことから、研究として重要と評価。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

今まで、解明されていない部分が多く、行政や農家からの期待は高いため、共同研究機関と調整しながら進めていく。